

平成 28 年 度

# 埼玉県准看護師試験問題

指示があるまで開いてはいけません。

## 注 意 事 項

- 1 解答用紙には「受験番号」と「氏名」を忘れずに記入してください。
- 2 試験時間は、午後 1 時から午後 3 時 30 分までの 2 時間 30 分です。
- 3 解答は、必ず解答用紙（マークシート）に記入してください。
- 4 各問題には、1、2、3、4 の四つの選択肢がありますが、正答は 1 つです。最も適切なものを一つ選び、解答してください。

(例) 次のうち日本の首都はどこか、正しいものを選びなさい。

- |   |   |   |
|---|---|---|
| 1 | 京 | 都 |
| 2 | 東 | 京 |
| 3 | 大 | 阪 |
| 4 | 福 | 岡 |

正解は 2 の東京ですから、右のように②の中を濃く完全にぬりつぶしてください。

問題 番号	解 答 欄			
1	①	●	③	④
2	①	②	③	④
3	①	②	③	④
4	①	②	③	④
5	①	②	③	④
6	①	②	③	④
7	①	②	③	④
8	①	②	③	④
9	①	②	③	④
10	①	②	③	④
11	①	②	③	④
12	①	②	③	④
13	①	②	③	④
14	①	②	③	④
15	①	②	③	④

- 5 記入はすべて HB の鉛筆またはシャープペンシルを使用して  
ください。(ボールペンやフリクションペンで記入すると、採点されません。)
- 6 答えを修正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消してください。  
(消しあとが残っていると誤って採点される場合があります。)
- 7 試験時間中に発言してはいけません。また、用事があるときには手を挙げてください。

問題1 細胞の内部構造で遺伝子の形成に関与しているのはどれか。

1. 核
2. 小胞体
3. ゴルジ装置
4. リボソーム

問題2 蝶番関節はどれか。

1. 股関節
2. 肩関節
3. 仙腸関節
4. 指節間関節

問題3 左心室から出る血管はどれか。

1. 肺動脈
2. 大動脈
3. 肺静脈
4. 上大静脈

問題4 肺について正しいのはどれか。

1. 右肺は2葉からなる。
2. 肺尖の位置は鎖骨の下2～3cmである。
3. 横隔膜が弛緩すると肺の容積は増加する。
4. 肺での酸素と二酸化炭素の交換を外呼吸という。

問題5 大腸について正しいのはどれか。

1. 結腸の壁には絨毛がない。
2. 大腸の全長は6～7mである。
3. 女性の直腸は子宮と膣の前に位置する。
4. 食事内容物は通常食後約8時間で直腸に達する。

問題6 尿の生成について正しいのはどれか。

1. 水は腎盂で再吸収される。
2. 血液は尿管で濾過される。
3. 糖は近位尿細管で再吸収される。
4. 成人の1日の糸球体濾過量(GFR)は約100である。

問題7 脳下垂体ホルモンの種類と作用の組み合わせで正しいのはどれか。

- |                 |      |             |
|-----------------|------|-------------|
| 1. 成長ホルモン(GH)   | ———— | 排卵促進        |
| 2. オキシトシン(OT)   | ———— | 子宮筋の収縮促進    |
| 3. 抗利尿ホルモン(ADH) | ———— | カルシウムの再吸収促進 |
| 4. 黄体形成ホルモン(LH) | ———— | タンパク質の代謝促進  |

問題8 脊髄について正しいのはどれか。

1. 運動神経は後根から出る。
2. 膝蓋腱反射は脊髄反射である。
3. 脊髄の下端は第4～5腰椎の高さにある。
4. 脊髄の内部は白質でその周囲を灰白質が包む。

問題9 眼球について正しいのはどれか。

1. 強膜は白色である。
2. 水晶体は凹レンズ形である。
3. 光を感じるのは視神経円板である。
4. 毛様体小帯は網膜と毛様体を結ぶ。

問題10 推定エネルギー必要量について正しいのはどれか。

1. 授乳婦の付加量は50kcal/日である。
2. エネルギーの過不足はBMIを用いて評価する。
3. 男女ともに必要量が最も多いのは30歳代である。
4. 成人では「推定平均必要量×身体活動レベル」で算定される。

問題 11 必須アミノ酸はどれか。

1. グリシン
2. アラニン
3. ロイシン
4. グルタミン酸

問題 12 慢性膵炎の食事療法について最も適切なのはどれか。

1. 炭水化物中心の食事とする。
2. アルコールの摂取は制限しない。
3. 脂質の摂取は 60～70g/日とする。
4. 水溶性ビタミンの欠乏に注意する。

問題 13 抗生物質と作用機序との組み合わせで正しいのはどれか。

- |                  |      |           |
|------------------|------|-----------|
| 1. ペニシリン系抗生物質    | ———— | 細胞壁合成阻害   |
| 2. マクロライド系抗生物質   | ———— | 核酸合成阻害    |
| 3. ポリペプチド系抗生物質   | ———— | タンパク質合成阻害 |
| 4. テトラサイクリン系抗生物質 | ———— | 細胞膜障害     |

問題 14 合成麻薬性鎮痛薬はどれか。

- a. ペチジン
- b. モルヒネ
- c. コデイン
- d. フェンタニル

1. a, b    2. a, d    3. b, c    4. c, d

問題 15 抗血栓薬の作用で正しいのはどれか。

1. アスピリンは血栓を溶解する。
2. ワルファリンは生体外で作用する。
3. ヘパリンは経口投与では無効である。
4. ウロキナーゼは血小板凝集を抑制する。

問題 16 疾患の原因で外因はどれか。

1. 年齢
2. ウイルス
3. 免疫異常
4. 染色体異常

問題 17 加齢によって起こる萎縮はどれか。

1. 圧迫萎縮
2. 中毒性萎縮
3. 生理的萎縮
4. 廃用性萎縮 (無為萎縮)

問題 18 浮腫について正しいのはどれか。

1. 腎性浮腫は低タンパク血症により起こる。
2. 炎症により血管外に出た液体を濾出液という。
3. リンパ浮腫はリンパ還流の増加により起こる。
4. 浮腫は血管内の水分が異常に増加した状態である。

問題 19 液性免疫において抗体を産生する細胞はどれか。

1. 好中球
2. 形質細胞
3. マクロファージ
4. Tリンパ球 (T細胞)

問題 20 心筋梗塞について正しいのはどれか。

1. 心筋が壊死した状態である。
2. 心破裂を起こすことはない。
3. 発症直後から安静は不要である。
4. 左冠状動脈の前下行枝が閉塞すると左心室の後壁の梗塞を起こす。

問題 21 胃潰瘍について正しいのはどれか。

1. 好発部位は大彎側である。
2. 空腹時に腹痛が起こる場合が多い。
3. 潰瘍の深さにより3段階に分類される。
4. ヘリコバクター・ピロリ感染との関連がある。

問題 22 毒素型食中毒を起こす菌はどれか。

1. 病原大腸菌
2. 腸炎ピブリオ
3. ボツリヌス菌
4. ウェルシュ菌

問題 23 抗酸菌について正しいのはどれか。

- a. 抗酸菌には淋菌がある。
- b. 非結核性抗酸菌は3群に分けられる。
- c. ハンセン病の病原体が含まれる。
- d. 抗酸性染色法にチール-ネールゼン(チールニールセン)法がある。

1. a, b    2. a, d    3. b, c    4. c, d

問題 24 感染経路で誤っているのはどれか。

1. マラリア原虫はハエによって媒介される。
2. 膾トリコモナスは性行為によって感染する。
3. 赤痢アメーバはシストによる経口感染が主である。
4. トキソプラズマは妊娠中に胎盤を経て胎児に感染する。

問題 25 看護者の倫理綱領前文で看護の目的に含まれないのはどれか。

1. 苦痛の緩和
2. 疾病の診断
3. 健康の回復
4. 健康の保持増進

問題 26 「臓器の移植に関する法律」について正しいのはどれか。

1. 最終改正は 1997 年である。
2. 臓器提供には年齢制限がある。
3. 親族への臓器の優先提供はできない。
4. 本人の意思が明確でない場合は家族の承諾により臓器提供ができる。

問題 27 セリエが示したストレスの生物学的反応で正しいのはどれか。

1. 警告反応期のショック相では血圧が上昇する。
2. 警告反応期の反ショック相では血糖値が下降する。
3. 抵抗期はストレスに対し適応できていない時期である。
4. 疲憊期では体温が低下する。

問題 28 不安のレベルで見ると、聞く、理解する力が鋭敏になるのはどれか。

1. 軽度の不安
2. 中度の不安
3. 強度の不安
4. パニック

問題 29 キュブラー＝ロスの 5 段階の心理プロセスで第 3 段階はどれか。

1. 怒り
2. 否認
3. 抑うつ
4. 取り引き

問題 30 医療保険について正しいのはどれか。

1. 20 歳から加入できる。
2. 傷病手当金は 6 か月を限度に支給される。
3. 後期高齢者医療制度の患者負担は 2 割である。
4. 高額療養費は自己負担限度額を超えた場合に支給される。

問題 31 医療従事者の役割で正しいのはどれか。

1. 視能訓練士は眼鏡を処方する。
2. 臨床工学技士は義肢を製作する。
3. 歯科技工士は矯正装置を作成する。
4. 臨床検査技師は放射線照射による撮影を行う。

問題 32 准看護師免許について正しいのはどれか。

1. 免許取得の要件に絶対的欠格事由がある。
2. 免許の効力は申請した都道府県に限られる。
3. 再免許は免許証を紛失した者に与えられる。
4. 籍の登録事項に変更が生じた場合は 30 日以内に訂正を申請する。

問題 33 「予防接種法」で定める B 類疾病はどれか。

1. 結核
2. 麻しん
3. 百日せき
4. インフルエンザ

問題 34 V・ヘンダーソンの看護の概念について正しいのはどれか。

1. 看護の対象は病人である。
2. 基本的ニードは 11 項目に分類される。
3. 患者のレクリエーション活動を助ける。
4. 生命力の消耗を最小にするように整える。

問題 35 WHO 憲章の前文で明言されていることについて正しいのはどれか。

1. 健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
2. 健康は生きるための目的ではなく日々の生活の資源である。
3. 人間の健康や病気は人・病因・環境が互いに影響し合って決まる。
4. 健康とは身体的、精神的ならびに社会的に完全に良好な状態である。



問題 36 疾病予防の3段階で第2次予防はどれか。

1. 予防接種
2. 人間ドック
3. 機能回復訓練
4. 生活習慣の改善

問題 37 看護職の名称や業務について正しいのはどれか。

1. 看護師は名称独占の免許である。
2. 業務従事者届の提出は任意である。
3. 助産録は1年間保管しなければならない。
4. 准看護師は薬剤の処方を行うことができる。

問題 38 看護実践場面で対象者とのコミュニケーションを円滑にする要素はどれか。

- a. 静かな場所
- b. 的確な表現
- c. 先入観による判断
- d. 専門用語による説明

1. a, b    2. a, d    3. b, c    4. c, d

問題 39 看護における観察で適切なのはどれか。

1. 信頼関係は妨げとなる。
2. 感覚器官を働かせて行う。
3. 専門的な基礎知識を必要としない。
4. 系統的観察とは直感によるものである。

問題 40 看護記録について正しいのはどれか。

1. 訂正するときは修正液を使用する。
2. 体温表では一般的に体温は赤色で記載する。
3. 電子カルテの導入により情報の共有化が可能となる。
4. フォーカスチャータリングは問題志向型の記録様式である。

問題 41 看護過程の変遷について正しいのはどれか。

1. 用語を最初に用いたのはオランダである。
2. 我が国に導入されたのは 2000 年代以降である。
3. ユラとウォルシュは 4 つの構成要素にまとめた。
4. 1980 年代以降にアセスメントが構成要素に加わった。

問題 42 病室内環境について正しいのはどれか。

1. 照度は 500～600 ルクスを目安とする。
2. 室内の湿度は冬季では 20～30% に調整する。
3. 採光に有効な窓面積は「医療法」で定められている。
4. 療養病床の床面積は患者一人につき 6.4m<sup>2</sup> 以上と定められている。

問題 43 ベッド上仰臥位から端座位への体位変換の援助で適切なのはどれか。

1. ベッドの中央で患者を起こす。
2. 身体を起こす際は患者の肘関節を引っ張って起こす。
3. 患者の殿部を支点に回転させながら下肢を降ろす。
4. 患者はベッドに浅く腰かけさせる。

問題 44 車椅子による移送中の援助で適切なのはどれか。

1. フットレストは上げておく。
2. 下り坂では前向きに降りる。
3. エレベーターには前向きで乗車する。
4. 段差を登るときはティッピングレバーを踏んで小車輪を浮かせる。

問題 45 睡眠中の生理的変化で正しいのはどれか。

1. 筋の緊張は亢進する。
2. インスリンが多く分泌される。
3. ノンレム睡眠は 5 段階に分けられる。
4. レム睡眠では急激な眼球運動がみられる。

問題 46 臥床患者の和式寝衣の交換で適切なのはどれか。

1. 肘関節を下から支えるように持ち袖を抜く。
2. すべて脱衣させた後に新しい寝衣を着せる。
3. 背縫いは側臥位時に後腋窩線に合わせる。
4. ひもは縦に結ぶ。

問題 47 陰部洗浄について適切なのはどれか。

1. 36～37℃の湯を準備する。
2. 陰部洗浄は排泄前に行う。
3. 外陰部の皮膚や粘膜は強くこすらずに洗う。
4. 女性の場合は肛門から外尿道口に向かって洗う。

問題 48 ベッド上での排泄援助について適切なのはどれか。

1. カーテンは開けておく。
2. 便器はカバーを外して病室に運ぶ。
3. 女性の場合はちり紙を使用し尿の飛散を防ぐ。
4. 肛門が便器の上縁に位置するように便器を挿入する。

問題 49 ガウンテクニックの原則で正しいのはどれか。

1. ガウンを着用してからマスクを装着する。
2. 清潔区域で着用するときはガウンの表側に触れてよい。
3. 着用するときは腰のひもを結んでから襟のひもを結ぶ。
4. ガウンは身体を覆うのに十分な大きさのものを用いる。

問題 50 無菌操作で適切でないのはどれか。

1. 実施前には手洗いを行う。
2. 滅菌の有効期限を確認する。
3. 鉗子の先端は水平よりも高く保つ。
4. 滅菌包みは布の外側をつまんで広げる。

問題 51 しろりの大きさを調べる診察方法で最も適切なのはどれか。

1. 問診
2. 聴診
3. 触診
4. 打診

問題 52 無呼吸から徐々に速く深い呼吸になり再び弱まり無呼吸となるのはどれか。

1. 頻呼吸
2. 起座呼吸
3. クスマウル呼吸
4. チェーン-ストークス呼吸

問題 53 体温の生理的変動について正しいのはどれか。

1. 月経周期により変動する。
2. 運動をすることにより低くなる。
3. 新生児は成人と比べ安定している。
4. 1日のうちで午前5～6時ころが最も高い。

問題 54 体重測定の実則で正しいのはどれか。

1. 室温は21℃以下にする。
2. 衣服を身に着けた状態で行う。
3. 体重計の指針が-1kgであることを確認する。
4. 体重の変動を観察する場合は同一条件のもとで行う。

問題 55 磁気共鳴画像(MRI)検査について正しいのはどれか。

1. 放射線被曝がある。
2. 体動は制限されない。
3. 検査中に大きな音がする。
4. 金属類の持ち込みは可能である。

問題 56 坐薬の取り扱いや挿入時の援助で適切なのはどれか。

1. 冷暗所または冷蔵庫で保管する。
2. 成人の場合は肛門から 1 cm 挿入する。
3. 挿入後は肛門部を押さえる必要はない。
4. 挿入時に腹圧をかけるように説明する。

問題 57 皮下注射の皮膚面に対する刺入角度で正しいのはどれか。

1. 90 度
2. 45 度
3. 10～30 度
4. ほぼ平行

問題 58 輸血用全血製剤の保存温度で正しいのはどれか。

1.  $-20^{\circ}\text{C}$  以下
2.  $2\sim 6^{\circ}\text{C}$
3.  $10\sim 15^{\circ}\text{C}$
4.  $20\sim 24^{\circ}\text{C}$

問題 59 酸素及び酸素吸入の特徴で適切なのはどれか。

1. 酸素は助燃(支燃)性が弱い。
2. 酸素は常温では空気より軽い。
3. リザーバー付酸素マスクは高濃度酸素吸入に適している。
4. 酸素マスクは酸素流量  $5\sim 7\text{ l / 分}$  で吸入酸素濃度は 90% になる。

問題 60 経鼻胃チューブの挿入時の援助で適切なのはどれか。

1. 体位は半座位とする。
2. 潤滑剤は油性のものを用いる。
3. 外耳孔から剣状突起までの長さを挿入の目安とする。
4. チューブが咽頭を通過するとき「アー」と声を出してもらう。

問題 61 導尿について適切なのはどれか。

1. 導尿時の体位は側臥位とする。
2. カテーテル挿入時は無菌操作で行う。
3. 女性の場合はカテーテルを 10cm 挿入する。
4. 成人の場合は 6～8Fr のディスポーザブルカテーテルを用いる。

問題 62 流腸時の体位で最も適しているのはどれか。

1. 立位
2. 腹臥位
3. 左側臥位
4. 右側臥位

問題 63 胸腔内 (低圧) 持続吸引法について正しいのはどれか。

1. 持続吸引中は絶対安静である。
2. 吸引器は挿入部より低い位置に設定する。
3. 吸引開始時は指示圧より高い圧に設定する。
4. 吸引バッグの交換はチューブを開放したまま行う。

問題 64 胸腔穿刺について正しいのはどれか。

1. 局所麻酔は行わない。
2. 腹水の貯留時に行う。
3. 肋間腔が広がる体位にする。
4. 通常は第 1～2 肋間で行う。

問題 65 ディスポーザブル製品の特徴で正しいのはどれか。

1. 感染の危険が少ない。
2. 使用後に製品を消毒する。
3. 廃棄物の量が少なくなる。
4. 繰り返し使用可能である。

問題 66 継続看護について適切なのはどれか。

1. 学校は対象とならない。
2. WHOで定義されている。
3. 看護要約(看護サマリー)を利用する。
4. 退院が決定した後に退院計画の立案を行う。

問題 67 感覚障害のある患者の特徴や看護で適切なのはどれか。

1. 体位変換は避ける。
2. 皮膚損傷は起こりにくい。
3. 湯たんぽは身体に密着させる。
4. しびれのある部分の血行を促進させる。

問題 68 脱水について正しいのはどれか。

1. 低張性脱水はカリウムが欠乏して起こる。
2. 低張性脱水では口渇があらわれる。
3. 高張性脱水は水分が欠乏して起こる。
4. 高張性脱水では尿量が増加する。

問題 69 ショック状態の患者の看護で適切なのはどれか。

1. 全身の保温は避ける。
2. 血圧低下に注意する。
3. 水平仰臥位で頭部を挙上する。
4. 1次救命処置は医師の指示を受けてから行う。

問題 70 手術室の看護師の役割や看護について適切でないのはどれか。

1. 術者の介助を行う。
2. 手術室の環境を整える。
3. 術前に患者を訪問する。
4. 患者への声かけは控える。

問題 71 放射線防護について正しいのはどれか。

1. 放射線源と身体の間を遮蔽する。
2. 被曝線量は被曝時間に反比例する。
3. 被曝線量は放射線源との距離が遠いほど増加する。
4. 放射線管理区域は一般者の立ち入りを許可している。

問題 72 徒手筋力テストについて正しいのはどれか。

1. 5段階で評価する。
2. 関節可動域を測定する方法である。
3. 筋の収縮が全く認められないのは1である。
4. 重力を除けば全可動域を完全に動かせるのは2である。

問題 73 透析療法について正しいのはどれか。

1. 食事制限は不要である。
2. 治療効果指標の一つに尿素窒素(BUN)がある。
3. 不均衡症候群は血液の老廃物の貯留によって起こる。
4. 動脈と静脈を血管吻合によりつないだものを外シャントという。

問題 74 エリクソンの発達課題で青年期の特徴はどれか。

1. 自律感
2. 生殖性
3. 統合性
4. アイデンティティの確立

問題 75 我が国における平成 26 年(2014 年)の総人口に占める生産年齢人口の割合はどれか。

1. 約 40%
2. 約 50%
3. 約 60%
4. 約 70%



問題 76 健康日本 21 (第 2 次) の主な目標に含まれないのはどれか。

1. 健康寿命の延伸
2. 健康格差の縮小
3. 思春期の保健対策の強化
4. 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) の認知度の向上

問題 77 特発性間質性肺炎について正しいのはどれか。

1. 湿性咳嗽がみられる。
2. 肺炎球菌が原因である。
3. 爪がさじ状に変形する。
4. 断続性ラ音 (捻髪音) を聴取する。

問題 78 気胸患者の看護で適切なのはどれか。

1. 深呼吸を促す。
2. 積極的な運動を勧める。
3. 再発はしないと説明する。
4. 呼吸音の左右差を確認する。

問題 79 不整脈について正しいのはどれか。

1. 症状の一つに動悸がある。
2. 期外収縮は徐脈性不整脈である。
3. 心室細動は電氣的除細動の適応外である。
4. 房室ブロックは P Q 時間 (間隔) が短縮する。

問題 80 我が国における食道がんの病態について正しいのはどれか。

1. 非喫煙者に多い。
2. 30 歳代の女性に多い。
3. 胸部中部食道の発生が多い。
4. 組織学的には腺がんが多い。

問題 81 急性胆嚢炎患者の看護で適切なのはどれか。

1. 黄疸の状態を観察する。
2. 左肩痛の有無を観察する。
3. 積極的に運動をするように説明する。
4. 高脂肪食を摂取するように説明する。

問題 82 悪性リンパ腫について正しいのはどれか。

1. 放射線療法は病期に関わらず無効である。
2. 頸部のリンパ節腫脹(腫大)がみられることが多い。
3. 日本ではホジキンリンパ腫がおよそ9割を占める。
4. 尿中にベンス・ジョーンズタンパクが出現することが多い。

問題 83 貧血のある患者の看護で適切なのはどれか。

1. 四肢の冷電法を行う。
2. ビタミンの摂取を制限する。
3. 日常生活援助は不要である。
4. 動作はゆっくり行うように説明する。

問題 84 バセドウ病について正しいのはどれか。

1. 眼瞼浮腫がみられる。
2. 治療には抗甲状腺薬を用いる。
3. コレステロール値が上昇する。
4. 50～60歳代の女性に好発する。

問題 85 乳がん患者の術後の看護で適切なのはどれか。

1. 食事は流動食から開始する。
2. 患肢は挙上しないように伝える。
3. リハビリテーションは術後7日目から開始する。
4. 術後の乳房と反対側の乳房の自己検診法を指導する。

問題 86 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) について正しいのはどれか。

1. 青年期の発症が多い。
2. 筋線維束性れん縮を認める。
3. 発症初期から膀胱直腸障害をきたす。
4. 副腎皮質ステロイドは進行を抑制する。

問題 87 頭部外傷患者の看護で適切なのはどれか。

1. 頭蓋底骨折では頭部を下げる。
2. 耳孔からの出血はタンポンでふさぐ。
3. 頭蓋内圧亢進症状の有無を観察する。
4. 意識の評価にはブレードスケールを用いる。

問題 88 椎間板ヘルニアについて正しいのはどれか。

1. 髄核が前方へ突出し生じる。
2. 頸椎では坐骨神経痛が生じる。
3. 治療の第一選択は手術療法である。
4. 最も多い発症部位は下部腰椎である。

問題 89 グリソン牽引中の患者の看護で適切でないのはどれか。

1. 運動は禁止する。
2. 後頭部の除圧を図る。
3. 下顎の違和感を観察する。
4. 家族や知人との交流を図れるようにする。

問題 90 急性腎不全患者の看護で適切なのはどれか。

1. 運動を勧める。
2. クレアチニン値を確認する。
3. 水分制限の必要はないと説明する。
4. カリウムを多く含む食品を勧める。

問題 91 婦人科診察時の看護で適切なのはどれか。

1. 内診はシムス位で行うことを説明する。
2. 腹部触診時は膝を伸ばすように説明する。
3. 内診時はゆっくりと口呼吸するように説明する。
4. 膣や頸管分泌物検査の検体採取前には膣の消毒を行う。

問題 92 帯状疱疹について正しいのはどれか。

1. 皮疹の後に疼痛が出現する。
2. 治療には免疫抑制薬を用いる。
3. 麻疹ウイルスによる疾患である。
4. 帯状疱疹後神経痛は高齢者に多い。

問題 93 アトピー性皮膚炎患者の看護で適切なのはどれか。

1. 入浴時の湯温は高めにする。
2. 検査データは I gA 抗体値を観察する。
3. 皮膚は乾燥した状態を保つように説明する。
4. 衣類は木綿のものを着用するように説明する。

問題 94 インフルエンザについて正しいのはどれか。

1. 細菌感染症である。
2. 合併症の一つに脳炎がある。
3. 潜伏期間は 5～7 日である。
4. 予防接種には生ワクチンが用いられる。

問題 95 皮膚筋炎について正しいのはどれか。

1. 男性に多い。
2. 顔面に蝶形紅斑がみられる。
3. クレアチンキナーゼ値が低下する。
4. 治療には副腎皮質ステロイド薬を用いる。

問題 96 肺結核患者の看護で適切なのはどれか。

1. 喀痰採取は起床時に行う。
2. 喀血が持続する場合は仰臥位とする。
3. 内服治療は1か月間で終了すると説明する。
4. 排菌患者に接する際はサージカルマスクを用いる。

問題 97 白内障について正しいのはどれか。

1. 主症状は視野狭窄である。
2. 硝子体の混濁が原因である。
3. 糖尿病性白内障が最も多い。
4. 進行抑制に点眼治療が行われる。

問題 98 メニエール病について正しいのはどれか。

1. 中耳疾患である。
2. 手術の適応はない。
3. 治療には利尿薬を用いる。
4. 症状の一つに耳漏がある。

問題 99 鼻出血患者の看護で適切でないのはどれか。

1. 鼻翼の圧迫を行う。
2. 全身状態の観察を行う。
3. 止血困難時はペロックタンポンを用いる。
4. 口腔内に流れた血液は飲み込むように説明する。

問題 100 歯周病について正しいのはどれか。

1. 出血はみられない。
2. エナメル質が脱灰する。
3. 糖尿病との関連がある。
4. 高齢者特有の疾患である。

問題 101 我が国における平成 26 年 (2014 年) の 65 歳以上の者のいる世帯で最も多いのはどれか。

1. 単独世帯
2. 夫婦のみの世帯
3. 親と未婚の子のみの世帯
4. 三世代世帯

問題 102 我が国における平成 25 年 (2013 年) の 65 歳以上の有訴者率はどれか。

1. 約 2 割
2. 約 3 割
3. 約 5 割
4. 約 7 割

問題 103 介護予防について正しいのはどれか。

1. 予防給付の対象は要介護被保険者である。
2. 介護予防事業の実施主体は市町村である。
3. 地域包括支援センターの運営主体は都道府県である。
4. 介護老人保健施設における施設サービスは予防給付である。

問題 104 高齢者の知的能力で低下しやすいのはどれか。

1. 判断力
2. 記銘力
3. 理解力
4. 言語能力

問題 105 介護老人福祉施設の概要について正しいのはどれか。

1. 要支援者が対象である。
2. 「社会福祉法」の指定施設である。
3. ユニットケアの取り組みが進められている。
4. 病院と家庭の中間施設として位置づけられている。

問題 106 外来受診をする高齢者の看護で適切でないのはどれか。

1. 認知症がある場合に付き添いを依頼する。
2. 説明の理解が得られない場合は再度説明する。
3. 聞き取りにくい場合は高音域の声で話しかける。
4. 患者自身で衣服の着脱ができない場合は介助する。

問題 107 廃用症候群の症状で起こりやすいのはどれか。

1. 筋肥大
2. 躁状態
3. 体重増加
4. 起立性低血圧

問題 108 高齢者の排便への援助で最も適切なのはどれか。

1. 腹圧をかけやすい体位を指導する。
2. 1日排便がなかったら浣腸をする。
3. 食後に冷たい水をとるように促す。
4. 食物繊維の摂取量を減らすように促す。

問題 109 高齢者の入浴の援助で適切でないのはどれか。

1. 湯温は 42～44℃とする。
2. 入浴後は皮膚の保湿を図る。
3. 浴室に滑り止めマットを敷く。
4. 居室と浴室の温度差は小さくする。

問題 110 高齢者の終末期の看護で最も適切なのはどれか。

1. 体位変換を中止する。
2. 友人との面会は制限する。
3. 希望する場所で死を迎えられるように調整する。
4. 経済的負担がある場合は介護福祉士に連絡する。

問題 111 慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者の看護で適切でないのはどれか。

1. 禁煙を勧める。
2. 胸式呼吸を勧める。
3. 適度な運動を勧める。
4. インフルエンザの予防接種を勧める。

問題 112 妊娠の届出について定めている法律はどれか。

1. 地域保健法
2. 母体保護法
3. 児童福祉法
4. 母子保健法

問題 113 卵子と精子が受精する部位はどれか。

1. 腹腔内
2. 子宮腔
3. 子宮頸管
4. 卵管膨大部

問題 114 妊娠高血圧症候群患者の看護で適切でないのはどれか。

1. 体重の変化を観察する。
2. 低タンパク食を勧める。
3. 定期的に血圧測定をする。
4. 塩分制限の必要性について説明する。

問題 115 小児の生理的特徴で正しいのはどれか。

1. 白血球数は新生児期が最も少ない。
2. 幼児の睡眠時間は約8時間である。
3. 乳児の呼吸数は20～25回/分である。
4. 生後すぐに排泄される便を胎便という。



問題 116 ファロー四徴症の特徴で正しいのはどれか。

1. 左室肥大
2. 肺静脈狭窄
3. 大動脈騎乗
4. 心房中隔欠損

問題 117 小児の誤飲について適切なのはどれか。

- a. 何をどのくらい誤飲したのか確認する。
- b. 強アルカリ製品の場合は直ちに吐かせる。
- c. 最も起こしやすい年齢は4～5歳である。
- d. 予防のために周囲に危険なものを置かない。

1. a, b    2. a, d    3. b, c    4. c, d

問題 118 精神保健福祉に関する法律名と内容との組み合わせで正しいのはどれか。

- |             |      |                 |
|-------------|------|-----------------|
| 1. 精神保健法    | ———— | 精神衛生鑑定医制度を創設した  |
| 2. 精神衛生法    | ———— | 精神障害者の私宅監置を認めた  |
| 3. 精神保健福祉法  | ———— | 精神保健福祉センターを規定した |
| 4. 精神病患者監護法 | ———— | 任意入院制度を創設した     |

問題 119 精神障害者保健福祉手帳について正しいのはどれか。

- a. 「障害者基本法」により創設された。
- b. 障害の認定は市町村長が行う。
- c. 障害等級は3級までである。
- d. 税制上の優遇措置が受けられる。

1. a, b    2. a, d    3. b, c    4. c, d

問題 120 我が国における平成23年(2011年)の精神障害者数のうち最も多い疾患はどれか。

1. 気分(感情)障害(躁うつ病を含む)
2. 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
3. アルコール使用(飲酒)による精神及び行動の障害
4. 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害

問題 121 性格テストはどれか。

1. ウェクスラー法
2. ロールシャッハ法
3. 内田-クレペリン精神作業検査
4. ベンダー・ゲシュタルト・テスト

問題 122 てんかんの強直間代発作(大発作)について正しいのはどれか。

1. 意識消失する。
2. 脳波変化が脳の一部分にみられる。
3. 発作中のことは想起できることが多い。
4. 間代性けいれん後に強直性けいれんを起こす。

問題 123 思考の障害とその内容との組み合わせで正しいのはどれか。

1. 思考吹入 ———— 考えが支配される
2. 思考伝播 ———— 考えが奪い取られる
3. 思考途絶 ———— 過去の記憶の追想の欠落
4. 思考制止 ———— 考えの進み方が非常に遅い

問題 124 アスペルガー症候群について正しいのはどれか。

1. 社会性の障害はない。
2. 常同行動はみられない。
3. 言語発達の遅れは目立たない。
4. 興味の著しい限局性はみられない。

問題 125 統合失調症の病型で興奮や昏迷を特徴とするのはどれか。

1. 妄想型
2. 破瓜型
3. 緊張型
4. 残遺型

問題 126 2人以上の精神保健指定医の診察結果が一致しなければならない入院形態はどれか。

1. 任意入院
2. 措置入院
3. 応急入院
4. 医療保護入院

問題 127 身長 150cm、体重 60kg の患者。「自分のBMIの数値を知りたい」と言っている。この患者のBMIはどれか。

1. 約 18.6
2. 約 22.4
3. 約 26.7
4. 約 27.3

問題 128 ADLが全介助の患者。最近、食欲が低下してきている。アルブミン 3.0g/dℓ。清拭を実施した際に、患者の大転子部にステージⅠの褥瘡が確認された。援助で最も適切なのはどれか。

1. 栄養状態を改善する。
2. 体位を 90 度側臥位にする。
3. 発赤部のマッサージを行う。
4. 褥瘡部を生理食塩水で洗浄する。

問題 129 20 滴で 1mℓ の輸液セットで輸液 500mℓ を 6 時間で注入するとき、1 分間の滴数で正しいのはどれか。

1. 約 19 滴/分
2. 約 21 滴/分
3. 約 28 滴/分
4. 約 56 滴/分

問題 130 34歳の女性。趣味はテニスである。発作性の呼吸困難と喘鳴が続いたため受診したところ、気管支喘息と診断された。「発作が起こらないよう注意することを教えてください」と言っている。日常生活に関する説明で最も適切なのはどれか。

1. 「食事に制限はありません」
2. 「寝室の掃除は避けましょう」
3. 「風邪は発作の誘因となります」
4. 「運動はしない方がよいでしょう」

問題 131 50歳の女性。夫との2人暮らし。本日の朝、本人が起床してこないことに気付いた夫が声をかけたが反応がなく、救急搬送された。血圧 200/120mmHg、右半身麻痺がみられ、脳梗塞が疑われている。看護で適切なのはどれか。

1. 下肢を挙上する。
2. 気道閉塞を予防する。
3. 血圧は右側上肢で測定する。
4. 対光反射は内側から外側へ光を入れて観察する。

問題 132 45歳の男性。身長 172cm、体重 80kg。喫煙歴 20年で1日 20～30本。3年前からしばしば胸が締め付けられるような感じがしたため、外来を受診した。検査の結果、労作性狭心症と診断され薬物治療が開始となった。説明で適切なのはどれか。

1. 「喫煙は今までどおりで構いません」
2. 「体重は最終的に 75kg を目指しましょう」
3. 「これまでに発作が起こった状況を教えてください」
4. 「ニトログリセリン舌下錠は発作時にすぐに飲み込んでください」

問題 133 54歳の女性。粘血便が続いたため受診したところ、直腸がんと診断され人工肛門造設となった。術後の経過は良好で退院が決定した。本人は「ストーマケアが不安です。今後の生活にどんな影響があるのかも心配です」と言っている。説明で適切なのはどれか。

1. 「合併症は起こりません」
2. 「身体障害者手帳は申請できません」
3. 「旅行や外出の制限はしなくてもよいです」
4. 「ストーマケアは看護師に任せてください」

問題 134 48歳の男性。会社員。10年前に肝硬変と診断されている。黄疸の増強があり、失見当識、異常行動がみられ、肝性脳症の疑いで緊急入院となった。看護で適切なのはどれか。

- a. 羽ばたき振戦を観察する。
- b. 排便コントロールを行う。
- c. 食事は高タンパク食とする。
- d. 口腔ケアにはかための歯ブラシを使用する。

1. a, b    2. a, d    3. b, c    4. c, d

問題 135 46歳の男性。2型糖尿病により教育目的で入院している。空腹時血糖 150mg/dℓ。HbA1c 8.4%。残業が多く外食中心の生活である。インスリン療法を開始予定で、本人は「薬さえ使っていればいいんでしょ」と言っている。説明で適切なのはどれか。

- a. 「HbA1cは毎日測定しましょう」
- b. 「バランスのよい食生活にしましょう」
- c. 「有酸素運動を継続的に行いましょう」
- d. 「食事ができないときはインスリンを中止しましょう」

1. a, b    2. a, d    3. b, c    4. c, d

問題 136 44歳の女性。学校給食の調理員をしている。夫と10歳の娘と3人家族。子宮頸がんと診断され広汎性子宮全摘術を受ける目的で入院となった。手術後の生活を心配している。説明で適切なのはどれか。

1. 「退院翌日から働けます」
2. 「更年期症状は現れません」
3. 「下肢のむくみは起こりません」
4. 「性生活は退院後の診察で許可を受けてください」

問題 137 31歳の女性。38℃の発熱と関節痛のため受診したところ、全身性エリテマトーデス(SLE)と診断され入院となり、副腎皮質ステロイド薬の内服治療が開始された。説明で適切なのはどれか。

1. 「日光浴をしましょう」
2. 「手洗いやうがいをしましょう」
3. 「症状が再燃することはありません」
4. 「症状がないときは服薬しなくてよいです」

問題 138 33歳の男性。バイク事故による頸髄損傷のため、四肢麻痺と感覚障害がある。理学療法がすすみ、ベッド柵まで手が届くようになったが、あまり動こうとしない。尿意はまだ感じられない。看護で適切なのはどれか。

1. 褥瘡予防の方法を説明する。
2. 排尿障害は残らないと説明する。
3. 自助具は使用しないように説明する。
4. 同じ障害を持つ患者との交流を控えるように説明する。

問題 139 80歳の男性。嚥下障害があり摂食嚥下訓練を行っているが、時折むせている様子がある。妻が「食事の際には何に注意をすれば良いですか」と心配している。説明で適切なのはどれか。

1. 「大きなスプーンを使用しましょう」
2. 「汗物にはとろみをつけないでください」
3. 「食事の前には舌や首の運動をしましょう」
4. 「首を後ろに反るようにして食べると食べやすいです」

問題 140 73歳の女性。1年前から右膝の腫脹と疼痛があり、受診したところ右変形性膝関節症と診断され、保存療法で経過観察していくことになった。看護で適切なのはどれか。

- a. 運動は控えるように説明する。
- b. 患部は十分に冷却するように説明する。
- c. 膝関節への荷重負荷を軽減させるための指導をする。
- d. 関節内穿刺や関節内注入を行った後は感染症状に注意する。

1. a, b
2. a, d
3. b, c
4. c, d

問題 141 90歳の男性。一人暮らし。認知症の診断を受け、施設へ入所することとなった。「仕事に行かなきゃいけない」と徘徊することが多い。「作業用具が盗まれた」と話し、棚の中の物を何度も出し入れしている。援助で適切なのはどれか。

1. 探し物は一緒に探す。
2. 環境整備は本人に任せる。
3. 徘徊をしないように説得する。
4. 仕事に行く必要はないと注意する。

問題 142 33歳の経産婦。妊娠33週5日である。下腹部緊満感と下腹部痛が断続的に持続している。今朝、性器出血が見られたため受診したところ、切迫早産の診断で入院となった。子宮収縮抑制薬の点滴静脈注射を開始した。看護で適切でないのはどれか。

1. 便秘を予防する。
2. 外陰部の清拭は控える。
3. 分娩監視装置を装着する。
4. 安静度について説明する。

問題 143 40歳の初産婦。妊娠39週5日である。産徴と規則的陣痛があり入院した。入院後、陣痛持続時間が長くなり、間欠時間が短くなった。子宮口は3cm開大している。「これからどうしたらよいのかわからない」と訴えている。看護で適切なのはどれか。

1. 禁飲食とする。
2. 安静臥床を促す。
3. 2時間毎に導尿する。
4. 分娩経過を説明する。

問題 144 23歳の初産婦。3,020gの男児を出産し、母子共に健康状態は良好である。「初めての授乳で、母乳で育てるのが不安です」と言っている。初回授乳指導で適切なのはどれか。

1. 乳頭を浅く含ませるように説明する。
2. 30分間かけて授乳するように説明する。
3. 初乳は感染防御に役立つことを説明する。
4. 5時間の間隔で授乳するように説明する。



問題 145 8歳の女兒。昨日から38℃の発熱がある。耳下腺部に軽度の腫脹がみられ、痛みを訴えている。受診したところ流行性耳下腺炎と診断された。母親は「これからどのようなことに注意すればよいですか」と言っている。説明で適切なのはどれか。

1. 「合併症の心配はありません」
2. 「熱が下がれば登校してよいです」
3. 「いつもどおりの食べ物でよいです」
4. 「腫れているところは冷やしてください」

問題 146 生後3週間の男児。哺乳後の嘔吐が多くなってきたため病院を受診した。検査の結果、肥厚性幽門狭窄症と診断され、アトロピンによる保存的治療目的で入院となった。家族への説明で適切なのはどれか。

1. 「授乳時の排気は避けてください」
2. 「授乳後は頭を高くしてください」
3. 「授乳後にアトロピンを投与します」
4. 「寝かせるときは仰向けにしてください」

問題 147 4歳の女兒。7歳の兄と両親、祖母の5人家族である。微熱と鼻出血が続いたため、病院を受診した。検査の結果、急性リンパ性白血病と診断され入院となり治療が開始された。看護で適切でないのはどれか。

1. 感染症罹患歴を確認する。
2. 面会は自由であると説明する。
3. 化学療法の副作用を観察する。
4. 検査や処置後はがんばりを褒める。

問題 148 35歳の女性。統合失調症と診断され内服治療をしていたが、数日前から空笑や独語がみられた。本日、意味不明なことを言い、暴力を振るうため家族に連れられ外来受診し、入院後から隔離、身体的拘束が開始された。対応で適切なのはどれか。

1. 幻覚や妄想の訴えは否定する。
2. 肺塞栓症の予防ケアは不要である。
3. 病的体験の内容を詳しく聞き取る。
4. 身体的拘束の必要性は精神保健指定医が判断する。

問題 149 28歳の女性。双極性(感情)障害で入院経験がある。最近、服装が派手になり、高価なものを注文するようになったため、家族に連れられ外来受診した。受診時も、次から次へと様々なことを話し続けている。受診時の状態はどれか。

1. 観念奔逸
2. 感情失禁
3. 常同思考
4. 昏迷

問題 150 30歳の男性。父親の急死で会社経営を引き継いだが、「自分には荷が重すぎる。死にたい」とつぶやくようになった。心配した姉とともに外来を受診し、うつ病と診断され入院となった。入院時の対応で適切なのはどれか。

1. 患者の話を慎重に聞く。
2. 悲観的な感情を否定する。
3. 家業を頑張るようにと励ます。
4. 気分転換に一人で散歩をするように促す。

## 受験番号等の記入方法

- 1 氏名欄に氏名を記入します。
- 2 受験番号の欄に自分の番号を記入します。
- 3 受験番号の数字のそれぞれに該当するところを丁寧にぬりつぶします。

(例) 受験番号 9061番 氏名 埼玉 彩子 の場合

自分の氏名を記入する。

フリガナ	サイタマ	アヤコ
氏名	埼玉 彩子	

自分の受験番号を記入して  
ぬりつぶす。

受験番号			
千の位	百の位	十の位	一の位
9	0	6	1
①	●	①	①
①	①	①	●
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	●	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧
●	⑨	⑨	⑨